

労働者の働き方・ニーズに関する調査について

厚生労働省労働基準局労働条件政策課

Ministry of Health, Labour and Welfare of Japan

1 調査の実施方法

調査目的、対象について

・中長期の労働基準法制の方向性を整理するために、働き方・労働時間制度等へのニーズを把握することを目的とし、委託事業において調査を実施。

(調査対象)

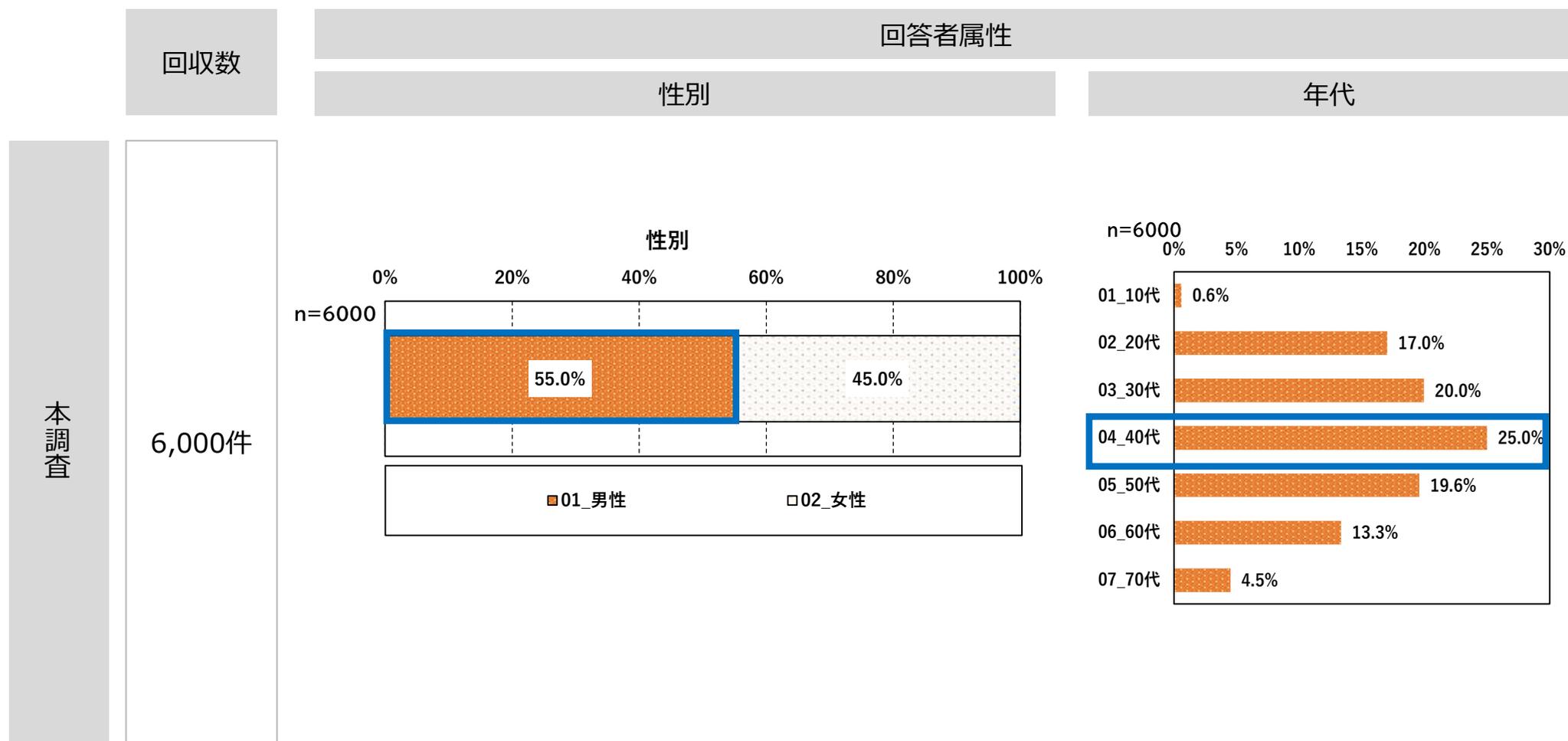
- ・インターネット調査を通じて24,190人を対象にスクリーニング調査を実施。
 - ・その内、就業形態が「正規社員」「非正規社員」「雇用関係によらない者」に該当する15歳～79歳の男女から、就業構造基本調査と同様の比率になるように6,000人を抽出し、令和5年3月に本調査を実施。
- 今後、集計結果について研究会において報告予定

	調査客体数	抽出方法	調査方法
スクリーニング調査	24,190 人	<ul style="list-style-type: none">・ 24,190人を対象としたスクリーニング調査にて、就業形態を<ul style="list-style-type: none">・ 会社等に雇われている社員で「正規の職員・従業員」と答えた方を「正規社員」・ 会社等に雇われている社員で正規職員以外の方を「非正規社員」とし、・ 「自営業・フリーランス（実店舗がなく、雇人もいない自営業主や一人社長）」と答えた方を「雇用関係によらない者」・ 15歳～79歳の男女から、就業構造基本調査と同様の比率になるように6,000人を抽出	<ul style="list-style-type: none">・ 調査会社によるインターネット調査
本調査	6,000 人		

2 回収結果（回答者の性・年代）

- 回答者の属性として、性別は、男性が55%、女性が45%
回答者の年代は、40代が25%、次いで30代が20%、50代が19.6%となっている。

アンケート調査の回収状況

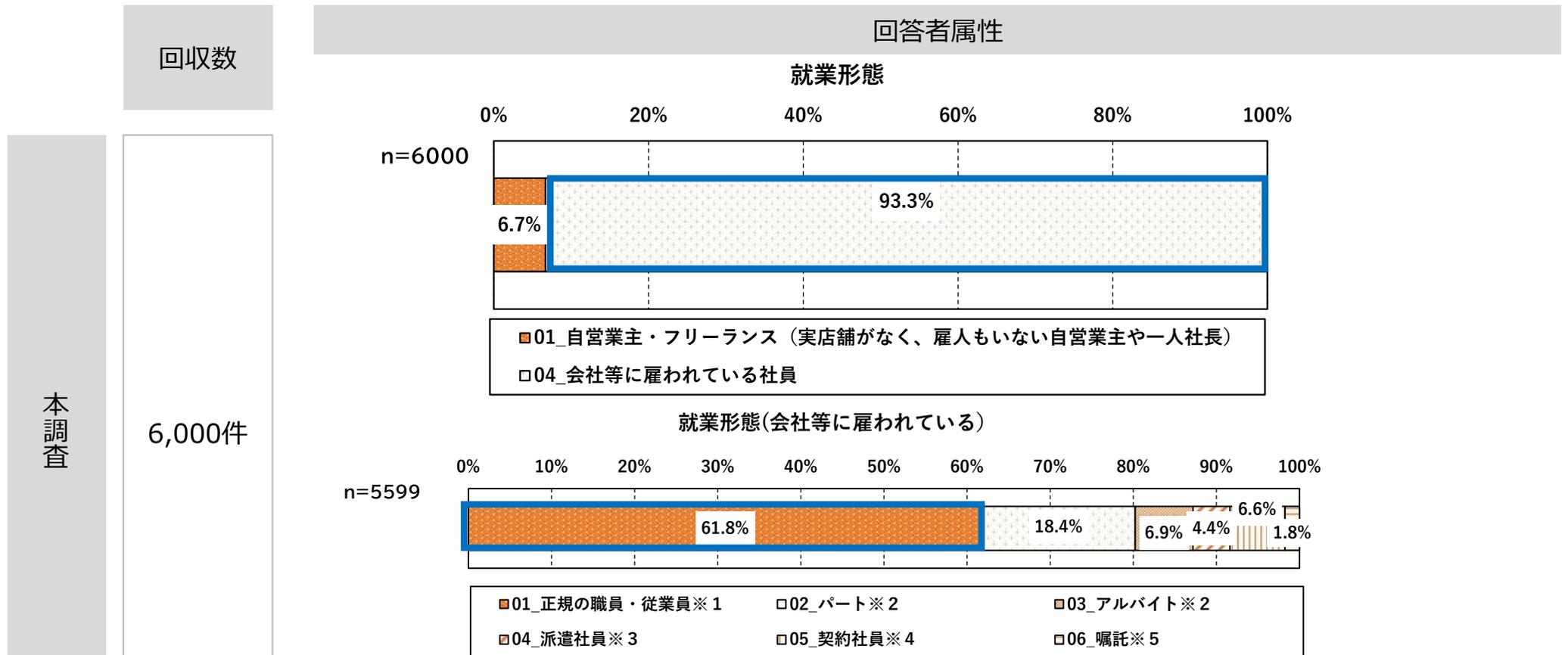


3 回収結果（回答者の就業形態）

- 就業形態については、会社等に雇われている社員が93.3%、自営業主・フリーランス（実店舗がなく、雇人もいない自営業主や一人社長）が6.7%となっている。

また、会社等に雇われている社員のうち、正規の職員・従業員が61.8%、次いでパート・アルバイトが25.3%となっている。

アンケート調査の回収状況



※1「正規の職員・従業員」とは、一般職員又は正社員などと呼ばれている人
 ※2「パート」、「アルバイト」とは、就業の時間や日数に関係なく、勤め先で「パートタイマー」、「アルバイト」それぞれに近い名称で呼ばれている人
 ※3「派遣社員」とは、労働者派遣法などに基づく労働者派遣事業所などに雇用され、そこから派遣される人(派遣社員は他に当てはまるものがあっても、「派遣社員」)
 ※4「契約社員」とは、※1~3、5以外の者で、雇用期間の定めのある人
 ※5「嘱託」とは、労働条件や契約期間に関係なく、勤め先で「嘱託社員」又はそれに近い名称で呼ばれている人

4 調査項目

- 今後の働き方について重視したい事項、希望する労働時間制度、健康確保についての考え方、人事管理における希望等の項目について調査を実施。

#	質問項目
1	あなたの性別を教えてください。
2	あなたの最終学歴を教えてください。
3	あなたのお住まいの地域を教えてください。(最低賃金ランク)
4	あなたのお住まいの地域を教えてください。(三大都市圏)
5	あなたは現在、世帯主ですか。
6	あなたが現在、扶養している家族は誰ですか。
7	あなたには現在、介護・介助の対象となる家族がいますか。
8	あなたの現在の就業形態を教えてください。
9	あなたの雇われている形態を教えてください。
10	あなたの現在の職業を教えてください。
11	仕事を決める際は、仕事内容よりも賃金・報酬を重視している
12	あなたの現在の働き方について教えてください。 特定の仕事に就いて専門性を高めるよりも、色々な仕事に就いて幅広い能力を身につけることを重視している
13	1つの企業で長く働く、あるいは、特定の取引先と長く取引することを重視して働いている
14	仕事よりも仕事以外の生活を大切にしている
15	あなたは現在、自己啓発のために、1週間にとどのくらいの時間を使っていますか。
16	あなたの現在の勤め先(あるいは、事業)の業種を教えてください。
17	あなたの現在の勤め先の従業員数はどのくらいですか。(雇用関係によらない者以外が回答)
18	あなたの現在の勤め先に労働組合はありますか。(雇用関係によらない者以外が回答)
19	その労働組合は、あなたにとって労働条件等を改善する上で頼りになる存在だと思いますか。(組合ありの方のみ回答)
21	勤め先(あるいは、主な取引先)との労働条件や報酬の交渉や話し合いについて、あなたの現在の考えを教えてください。
22	個人として、勤め先・取引先と労働条件・仕事内容・報酬について交渉や話し合いができる 勤め先・取引先が示す労働条件・仕事内容・報酬が希望に合わない場合には、転職する(取引先を変える)ことができる
23	あなたの現在の仕事は、一人前になるまでにどの程度の経験年数が必要ですか。
24	仕事の手順を自分で決めることができる
25	仕事の時間配分を自分で決めることができる
26	勤務場所を自分で決めることができる
27	あなたの現在の仕事の特徴を教えてください。
28	採用や異動で代わりの人を容易に確保できる
29	高度な専門性を要する
30	仕事上の責任、権限が重い
31	仕事上の目標が高い
32	企画や判断が求められる仕事である
33	働いた時間よりも成果に基づいて賃金や報酬が支払われている
34	フレックスタイム制度
35	変形労働時間制度
36	裁量労働制(専門業務型)
37	裁量労働制(企画業務型)
38	事業場外みなし労働時間制
39	高度プロフェッショナル制度
40	時間管理なし(管理監督者等)
41	あなたには現在、どのような労働時間制度が適用されていますか。(雇用関係によらない者以外が回答)
42	現在の勤め先(あるいは、事業)における、1週間あたりの実労働時間は平均でどの程度ですか。
43	あなたは現在、兼業または副業を行っていますか。
44	現在の兼業・副業における、1週間あたりの実労働時間は平均でどのくらいですか。

#	質問項目
45	仕事を決める際は、仕事内容よりも賃金・報酬をこれまで以上に優先する
46	特定の仕事に就いて専門性を高めるよりも、色々な仕事に就いて幅広い能力を身につけることをこれまで以上に重視する仕事の立場をとる
47	1つの企業で長く働く、あるいは、特定の取引先と長く取引することをこれまで以上に重視する
48	あなたは今後、働き方に関する以下の点について、これまで以上に重視したいと思っていますか。
49	仕事よりも仕事以外の生活をこれまで以上に大切にしたい
50	仕事の手順を決定する際の、自分の裁量を増やしていきたい
51	仕事の時間配分を決定する際の、自分の裁量を増やしていきたい
52	勤務場所を決定する際の、自分の裁量を増やしていきたい
53	高度な専門性を要する仕事を増やしていきたい
54	責任の重い仕事を増やしていきたい
55	高い目標を有する仕事を増やしていきたい
56	企画や判断が求められる仕事を増やしていきたい
57	幅広い仕事を体験する機会を増やしていきたい
58	あなたは今後、リモートワーク(自宅等、オフィス以外の場所で働くこと)をしたいと思いませんか。
59	あなたは今後、以下の労働時間制度のどの程度働きたいですか。
60	通常の勤務時間制度(始業・終業時間を会社が決める制度)
61	変形労働時間制度(業務量や繁忙に合わせて、あらかじめ会社が日・週毎に異なる勤務時間を決められる制度)
62	フレックスタイム制度(一定の時間内で自分で始業・終業時間を決められる制度)
63	みなし労働時間制(一定時間分働いたとみなして、その時間数を基準に残業代が支給される制度)
64	労働時間制度の対象としない(勤務時間を会社が管理せず、自分で決められることができ、時間による賃金ではなく、成果等により高い賃金を目指せる制度)
65	あなたの今後、以下の時間をどのように変えたいですか。
66	仕事の時間
67	趣味やレジャーの時間
68	家族と過ごす時間
69	家事(育児・介護含む)のための時間
70	休息の時間
71	自己啓発の時間
72	地域や社会貢献の活動のための時間
73	あなたは今後、もし以下の特別休暇が社内では設けられていた場合、どの休暇を特に活用したいですか。現在利用できない休暇も含めて、希望を教えてください。
74	あなたが今後、もし連続1週間以上の長期休暇を取得できた場合、どのように過ごしたいですか。
75	あなたが今後、有給休暇取得の促進策として、今まで以上に企業に充実してほしい、または、新しく始めてほしいと思うことは何ですか。
76	あなたが今後、企業よりも、働く個人が自身の健康確保を行っていくべきだと思いますか。
77	あなたが今後、健康確保の支援策として、企業に今まで以上に充実してほしい、または、新しく始めてほしいと思うことは何ですか。
78	新卒採用よりも中途採用に力を入れるべき
79	あなたの今後、企業が今後どのような人事管理の方針を持つべきであると思いますか。
80	社員の雇用安定に最優先に考えるべき
81	昇進を決めるにあたって、年齢や勤続年数よりも、成果や能力を重視すべき
82	賃金は働いた時間より成果に基づいて決めるべき
83	異動は、会社の方針よりも個々の従業員の意見や希望を重視して決定すべき
84	従業員の教育・キャリア形成は、企業が責任を持つべき
85	あなたは今後、企業による教育訓練やキャリア形成支援に対することとして、どのようなことを重視しますか。
86	あなたが今後、教育訓練の一環として、企業に今まで以上に充実してほしい、または、新しく始めてほしいと思うことは何ですか。
87	あなたが今後、キャリア形成支援について、企業に今まで以上に充実してほしい、または、新しく始めてほしいと思うものは何ですか。
88	あなたは今後、将来のキャリアのために、どのようなことに力を入れたいですか。
89	あなたは今の勤め先にできる限り勤めたいと思いますか。
90	あなたが今の勤め先にできる限り勤めたいと思わない主な理由は何ですか。
91	あなたは将来、どのような働き方をしたいと思っていますか。(正規社員・非正規社員)
92	あなたは将来、どのような働き方をしたいと思っていますか。(雇用関係によらない者)
93	あなたは今後、副業・兼業を行う希望がありますか。
94	あなたが今後、副業・兼業を希望する理由は何ですか。
95	あなたが今後、もし就職・転職活動を行う場合、求人企業からどのような情報提供を希望しますか。
96	あなたは、定年後にどのような働き方を希望しますか。
97	あなたは、労働組合が企業と交渉する際に、特に何に力を入れてほしいと思いますか。